

第 72 回独立行政法人評価制度委員会評価部会概要等について

標記委員会は、令和 7 年 10 月 22 日に開催され、令和 7 年度に中（長）期目標期間が終了する法人に係る次期目標の策定等に向けた論点について、審議が行われました。その際の、国立環境研究所についての論点を以下のとおりご報告します。

●主務省ヒアリング及び法人理事長等ヒアリングにおける論点（委員会資料より抜粋）

（23）国立環境研究所

- ・国際的な環境研究への積極的な参画等を通じて、環境研究での我が国のプレゼンス向上を図りつつ、地球規模の環境に関する社会課題の解決に貢献していくため、国内外の大学や研究機関、民間企業等との連携を更に強化していくことが必要ではないか。
- ・法人の活動を通じ、国や地方の環境政策の推進に一層貢献していく観点から、適切な業務の優先順位付けの下で、必要十分な評価軸及び評価指標を設定することが重要ではないか。
- ・データ収集及び管理の一元化等を一層推進するとともに、それらを国内外の研究機関や国際機関等に対して戦略的に提供していくことで、国内外の環境研究におけるハブとしての役割を果たしていくことが必要ではないか。
- ・地球規模の環境に関する社会課題の解決に向けて、環境研究がより広範になる中、国内外の環境研究への貢献についての情報発信を強化していくことが必要ではないか。また、こうした取組等を通じ、様々な環境分野の研究人材等を確保・育成していくことが重要ではないか。